

# 渋川地域リハビリテーション広域支援センター ニュースレター 「 あじさい 」

2007年3月 発行

渋川中央病院内 事務局

渋川市石原 303-2

TEL 0279-60-6565

FAX 0279-60-6566

E-mail area@shibukawa-riha.com

## 1. 介護予防サポーター養成研修実施しました



渋川圏域では、吉岡町より介護予防サポーター養成研修実施依頼があり、平成19年1月17日に初級コースを、平成19年2月1日、8日、15日に中級コースを吉岡町住民対象に実施いたしました。

初級コースには109名の参加者が受講されました。内容は介護予防に必要な基本的なものでした。

- ・介護予防総論(渋川中央病院 作業療法士 阿部真也さん)
- ・口腔機能の向上(群馬県歯科衛生士会 一倉房江さん)
- ・栄養改善(渋川中央病院 管理栄養士 柴田いずみさん)
- ・介護予防のための筋力トレーニング(渋川中央病院 作業療法士 塚越妙子さん)

中級コースは全3回行われ、実技やグループワーク等も織り交ぜながら多彩な内容となりました。

- ・認知症の予防(渋川中央病院 作業療法士 阿部真也さん)
- ・介護保険と医療保険について(渋川中央病院 事務長 平形和久さん)
- ・筋肉トレーニング・運動について(渋川中央病院 理学療法士 岩崎宏紀さん)
- ・口腔ケアについて(群馬県歯科衛生士会 一倉房江さん)
- ・栄養改善(渋川中央病院 管理栄養士 柴田いずみさん)
- ・介護予防サポーターの役割と地域づくりグループワーク(渋川中央病院 教育部長 斉藤晃さん)

中級コース修了者46名には終了証が手渡されました(延べ12時間の講義を聴講)。今後、ボランティア活動等に参加され更なるレベルアップをはかり、吉岡町における介護予防サポーターとして活躍が期待されます。

## 2. 研修会「認知症と住環境を考える」開催しました



平成 19 年 2 月 18 日に群馬県総合スポーツセンターにて、第 2 回群馬タウンミーティング「認知症と住環境を考える」を開催いたしました。これは、福祉・医療・建築の総合的立場から住環境のコーディネーターを育成する「福祉住環境コーディネーター協会」と、「渋川地域リハビリテーション広域支援センター」、ならびに県内の福祉住環境コーディネーターが中心となり高齢者や障害のある方の住環境についての相談役となるべく発足された「群馬住環境ネットワーク」の三者共催で開催され、150 名もの参加がありました。

第一部は「認知症の理解と予防～運動機能・認知機能を維持向上させる『バリアフリー住宅』の奨め～」と題して、群馬大学山口教授にご講演いただきました。バリアフリーにすることにより、本来できるはずのことができなくなってしまう。バリアが多少あったほうが(バリアフリー)身体機能を維持するのによい、というお話がありました。また、認知症に関するお話を分かりやすく丁寧に説明していただきました。

第二部は『認知症と住環境を考える』と題し、パネルディスカッションが行われました。コーディネーターは高崎健康福祉大学の金井助教授、パネラーには山口さん(群馬大学教授)、井野さん(群馬県健康福祉局高齢政策課介護保険室室長)、青木さん(二之沢真福会特別養護老人ホーム ルネス二之沢副施設長)、立上さん(ぐんま高次脳機能障害者家族会会長)を迎え、認知症に関する制度の話を中心にディスカッションが行なわれました。小規模多機能型施設が認知症のある方々には有効であるが、群馬ではまだ広まっていないとのことでした。また、家族からしたらどこに相談したら良いのか分かりづらいことが一番の問題ではないかとの問題提起がなされました。認知症を取り巻く環境がまだ群馬では十分に整備されていませんが、大切なことは県民一人ひとりが認知症を理解することだと感じました。

## 3. ご利用下さい！

平成 19 年度も引き続き渋川地域リハビリテーション広域支援センターは渋川中央病院が運営していきます。実地指導の要請や電話相談を積極的に引き受けていきますのでよろしくお願ひします。

実地指導は各事業所に支援センター職員が出向き、実技指導や研修を行います。  
電話相談は毎週水曜日 15 時～17 時の間受け付けております。

担当:リハビリテーション科 作業療法士 阿部  
電話番号0279-60-6565 FAX0279-60-6566  
メール area@shibukawa-reha.com